

令和2年度 事業計画書

千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会

令和2年度 事業計画目次

運営にあたり

受託事業及び実施事業について

- 別紙Ⅰ 障害者就労促進チャレンジ事業
- 別紙Ⅱ 精神障害者等向け実践能力取得訓練コースの委託先機関開拓業務
- 別紙Ⅲ 令和2年度予定表
- 別紙Ⅳ 制度施策部会 事業計画
- 別紙Ⅴ 研修部会 事業計画
- 別紙Ⅵ 広報部会 事業計画
- 別紙Ⅶ 特別部会 事業計画
- 別紙Ⅷ 特別支援学校との連携におけるワーキンググループ事業計画
- 別紙Ⅸ 役員 部会 事務局構成
- 別紙Ⅹ 加盟センター 一覧表

運営にあたり

ここ数年、幾度か「激動の年」「新たな挑戦の年」といった内容で新年度を迎えてきたように思います。しかし、今年度、令和2年度ほど様々な試練を突き付けられた年は無かったのではないのでしょうか。

昨年度は様々な災害に見舞われたことにより、障害者支援において「災害」というキーワードを常に意識しなければならないことを実感しました。そして、これまでの経験測が必ずしも役に立たない、常に新たな取り組みが必要になるということを経験測を新型コロナウイルスの感染拡大により学びました。

このような状況を踏まえつつ、障害者就業・生活支援センターの存在意義、更には連絡協議会が出来ることを模索していく一年になると思います。

これまで継続して検討してきた障害者雇用のあるべき姿においては、今回の新型コロナウイルスが企業に与えるダメージによって、今の雇用が継続されるか注視していく必要があります。日本、世界の経済が今後どのように変化していくのかを常に意識し、我々の支援に反映させることが求められると思われまます。また、我々の支援そのものについても再考が必要です。これまでは対面を基本として支援を行ってきましたが、今回対面以外の方法についても模索することとなりました。これは我々の支援にとどまらず、企業における雇用のあり方そのものにも大きな影響を与えました。在宅就労の可能性を上げ、企業に新たな選択肢を提示することとなりました。通勤がネックになる支援対象者にとっては、チャンスと捉えることもできます。その方策を模索することが、我々支援者には求められているかもしれません。

連絡協議会としての活動においてもこれまで通りに全てを進めることは難しいと考えます。定例で開催してきた各種会議・研修については、開催時期や開催方法、開催回数について検討が必要になります。また、会議の開催回数の減少などにより、情報が断絶されることが無いよう新たな取り組みも必要になるかもしれません。他機関との連携においては、これまでとは違った判断基準を求められる、あるいは我々が提示する必要性に迫られることも想定されます。これまで築いてきた他機関とのネットワークにも大きな変化が生まれるかもしれません。

このような状況であるからこそ、連絡協議会がしっかりと機能していくことが求められるのではないのでしょうか。あらゆることにおいて「想定外」を作ることなく取り組んでいく姿勢が重要になるでしょう。連絡協議会としてのこれまでの取り組みをゼロベースで考えることにより、本当に必要なネットワークとして更に強固なものになる大きなチャンスだと捉えて、この一年皆で取り組んでいきたいと思ひます。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先としつつ「今できることをしっかりとやる」という意識を強く持ち、更にこれまで以上に強固な連携を取り障害者の就労・雇用支援を進めることが必要です。千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会の取組が、千葉県の障害者就業・雇用の更なる発展に寄与するよう尽力してまいりますので、今年度も当協議会の運営に皆様のご理解・お力添えをよろしくお願ひいたします。

I 受託事業について

I-1 障害者就労促進チャレンジ事業

受託先 千葉県商工労働部産業人材課
受託期間 令和2年4月30日～令和3年3月31日（水）
詳細 （別紙Ⅰ）令和2年度 障害者就労促進チャレンジ事業計画書参照

I-2 精神障害者等向け実践能力習得訓練コースの委託先機関開拓業務

受託先 千葉県商工労働部産業人材課
受託期間 令和2年4月30日～令和3年3月31日（水）
詳細 （別紙Ⅱ）令和2年度 精神障害者等向け実践能力習得訓練コースの委託先機関開拓業務 事業計画書参照

II 実施事業について

II-1 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会総会

参加数 16センター
開催日 令和2年5月22日（金）
開催方法 ZOOM（WEB会議）

内 容 令和元年度事業報告及び令和2年度事業計画について

II-2 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会定例会

参加数 16センター
開催日 第1回定例会 令和2年 7月21日（火）会場：ふる里学舎本千葉
第2回定例会 令和2年 9月15日（火）会場：ふる里学舎本千葉
第3回定例会 令和2年11月24日（火）会場：ふる里学舎本千葉
第4回定例会 令和3年 1月19日（火）会場：ふる里学舎本千葉
第5回定例会 令和3年 3月16日（火）会場：ふる里学舎本千葉

内 容 協議会運営に関する協議及び情報共有の場として2か月に1度を目安に実施。
障害者雇用に関する情報交換及び行政や外部団体の新規事業説明等を行うことにより、情報共有を図る。

II-3 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会幹事会

参加数 会長1名 副会長2名 各部会代表3名 事務局2名の予定
開催日 第1回幹事会 令和2年 5月12日（火）会場：ふる里学舎本千葉
第2回幹事会 令和2年 7月 7日（火）会場：ふる里学舎本千葉
第3回幹事会 令和2年 9月 1日（火）会場：ふる里学舎本千葉

第4回幹事会 令和2年11月10日(火)会場：ふる里学舎本千葉
第5回幹事会 令和3年 1月 5日(火)会場：ふる里学舎本千葉
第6回幹事会 令和3年 3月 2日(火)会場：ふる里学舎本千葉

内 容 主に定例会前に開催。定例会の協議事項などの確認および喫緊の課題等を協議

II-4 障害者就業・生活支援センター連絡調整会議の開催～年2回実施

参加数 全16センター及び各関係団体

開催日 第1回連絡調整会議 令和2年8月28日(金)会場：未定

第2回連絡調整会議 令和3年3月 5日(金)会場：未定

参加予定団体

千葉労働局、千葉県健康福祉部障害福祉事業課、千葉県商工労働部産業人材課、千葉県教育庁教育振興部特別支援教職員課、千葉県総務部総務課、高齢・障害・求職者雇用支援機構千葉支部、千葉県精神保健福祉センター、千葉県特例子会社連絡会、千葉障害者職業センター、千葉県立障害者高等技術専門学校、千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会、千葉県発達障害者支援センター、千葉県就労継続支援事業A型連絡協議会

内 容 関係機関との情報交換、ネットワークの構築を目的に実施。

協議会活動報告、シンポジウム形式での各センターや各機関からの情報・話題提供及び意見・情報交換等。

II-5 部会活動（別紙部会事業計画参照）

- ① 制度施策部会（別紙Ⅳ）
- ② 研修部会（別紙Ⅴ）
- ③ 広報部会（別紙Ⅵ）
- ④ 特別部会（別紙Ⅶ）

II-6 ワーキンググループ活動

主に千葉県内特別支援学校の就労支援コーディネーター幹事校で構成するプロジェクトチーム会議に参加し、連携のあり方などについて意見・情報交換を行う。

開催予定日については令和2年度予定（別紙Ⅲ）、詳細については特別支援学校との連携に関するワーキンググループの事業計画を参照（別紙Ⅷ）

II-7 各種会議体への参加、研修会等への講師派遣（別紙Ⅲ）

- ① 千葉県総合支援協議会本部会委員
- ② 千葉県総合支援協議会就労支援専門部会
- ③ 千葉県総合支援協議会権利擁護専門部会委員
- ④ 千葉県総合支援協議会精神障害者地域移行推進専門部会

- ⑤ 千葉県障害者施策推進協議会委員
- ⑥ 千葉県障害者就労事業振興センター理事
- ⑦ 千葉県特別支援教育研究推進会議
- ⑧ 千葉県発達障害者支援地域協議会
- ⑨ 千葉県若者自立支援ネットワーク協議会
- ⑩ 令和2年度障害者雇用サポート事業への協力

II-8 関係機関との連絡調整

- ① 千葉労働局～雇用安定等事業、福祉・教育・医療から雇用への移行推進事業に関する
こと
- ② 千葉県商工労働部産業人材課～障害者就労促進チャレンジ事業、企業支援員事業、笑顔いっぱいフレンドリーオフィス事業、精神障害者等向け実践能力習得訓練コースの
委託先機関開拓業務に関すること
- ③ 千葉県健康福祉部障害福祉事業課～生活支援等事業に関すること
- ④ 千葉県総務部総務課～チャレンジドオフィスちばに関すること
- ⑤ 千葉県立障害者高等技術専門校～委託訓練事業、連絡会への出席及び連携に関する
こと
- ⑥ 千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課～特別支援学校進路指導主事、就労支援コー
ディネーター連絡協議会への出席及び連携に関すること
- ⑦ 千葉県教育庁教育振興部教職員課～県立高等学校、県立教育機関における障害者雇用
に関すること
- ⑧ 千葉県精神保健福祉センター～精神障害者の支援に関すること
- ⑨ 千葉障害者職業センター～年2回の意見・情報交換会への出席及び連携に関すること
- ⑩ 千葉県特例子会社連絡会～年2回の意見・情報交換会への出席及び連携に関すること
- ⑪ パソナ・千葉～千葉県障害者雇用サポート事業
- ⑫ 千葉県就労継続支援事業A型連絡協議会～意見・情報交換会への出席及び連携に関す
ること
- ⑬ 千葉県健康福祉部高齢者福祉課～若年性認知症に関する就労支援に関すること
- ⑭ 千葉県障害者就労事業振興センター～障害者の自立に関すること
- ⑮ 千葉県商工労働部経済政策課～千葉のちから「中小企業・小規模企業表彰」に関する
こと

II-9 添付資料

- ① 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 役員・部会構成 (別紙IX)
- ② 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会加盟センター一覧 (別紙X)

令和2年度 障害者就労促進チャレンジ事業 事業計画書

I 企業向け見学相談会

開催案内については各ハローワークに協力を頂きながら、また当協議会としても当事業のリーフレットを作成し、協議会や各センターがどのような支援を行うかという案内を示しながら、周知・広報を行う。なお、実施回数については13回とし、参加企業間の情報交換等を積極的に行えるようにする。

これから障害者雇用に取り組もうとしている企業、もしくは既に取り組んでいるが新たな職域の開発を検討中の企業等の経営者、人事・現場担当者が、障害者がいきいきと働き、スムーズな雇用管理が出来ている企業、もしくは先進的な取り組みをしている企業、また障害者法定雇用率未達成企業が多数集まる場、就労支援現場（就労移行支援事業所等）などにおいて以下の取り組みを実施する。

I-1 実施内容：

- ・企業見学
- ・訓練場面の見学及び障害特性の説明（就労支援機関）
- ・企業で働く障害者の実例紹介（フレンドリーオフィス認定企業担当者）
- ・経営者、人事担当者、現場担当者との意見交換
- ・参加企業間の情報交換
- ・企業支援員及び障害者就業・生活支援センターの活用の説明
- ・障害者雇用支援施策の説明
- ・質疑応答及び意見・情報交換会（希望する企業には個別相談にも応じる）
- ・開催後、アンケートの実施（課題、改善点などを確認し次年度に活かす）

I-2 実施圏域：市川圏域、柏圏域、船橋圏域、習志野圏域、山武圏域、千葉圏域、長生圏域、印旛圏域、海匠圏域、香取圏域、夷隅圏域、市原圏域、安房圏域

I-3 実施時期：8月～2月

※詳細は別紙年間実施計画参照

II 障害のある人の意識改革について

企業等の理解促進のための企業見学・意見交換会と同様に、単に障害者が働いている現場を見学するだけではなく、見学後に企業担当者はもとより、障害当事者の方のご意見などを伺う機会を設け、意見交換を行う。

意見交換会の内容については、参加した方が「自分にも出来るかもしれない」「就職したい」と思えるよう工夫を凝らす。なお、保護者や支援機関（支援者）にも参加していただき、就労支援施策・定着支援施策等の説明をする。

実施回数について年間3回とするが、ニーズに応じて適宜開催する予定。

具体的実施計画は以下の通り。

Ⅱ－１ 実施内容：福祉施設等を経て就業した障害者を雇用している企業を、福祉施設等の利用者、その家族、支援者等が訪問し、以下の取り組みを行う。

- ①企業見学会
- ②経営者、人事担当者、障害当事者との意見交換会
- ③参加者間の情報交換会
- ④開催後アンケートの実施（課題、改善点などを確認し次年度に活かす）

Ⅱ－２ 実施場所：①松戸圏域 ②君津圏域 ③野田圏域

Ⅱ－３ 実施時期：９月～１１月

※詳細は別紙年間実施計画参照

Ⅲ ※短期職場実習について

実習先の開拓については、基本的にはセンター毎に行うが、実習者については各センターの登録者の中から、就業体験・経験が少ない方を中心に選定し、あくまでも職場体験を目的とした短期実習とする。なるべく多くの方に機会を提供する為、実習期間は原則５日とするが、回数の上限は設けずニーズに応じて適宜行う。具体的実施計画は以下の通り。

Ⅲ－１ 実施時期：４月～３月（随時）

Ⅲ－２ 実施回数：８０回（各センター５件）

Ⅲ－３ 実習期間：５日（就業に繋がりそうな場合は状況に応じて１０日まで延長）

当事業を通じて様々な効果が期待できる。特に期待できる効果は以下の通り。

- ①当事者の就労意欲の向上
- ②支援者の支援スキルの向上
- ③企業の障害者に対する理解促進
- ④職域、職場開拓
- ⑤関係機関のネットワーク強化

令和2年度 障害者就労促進チャレンジ事業 年間予定表

	企業向け見学・相談会	障害者向け見学会	短期職場実習
4月			
5月			
6月			
7月			
8月	あかね園 山武プリオ		
9月	香取就業センター ピア宮敷	ビック・ハート松戸	
10月	ビック・ハート柏 中里	はーとふる	
11月	いちされん 東総就業センター		
12月	ふる里学舎 大久保学園	エール	
1月	キャリアセンター 長生プリオ		
2月	明朗塾		
3月			

・事業の実施日については2ヶ月前には確定させ、1月半前には広報活動を行い募集を開始出来るようにする。

別紙Ⅱ

令和2年度精神障害者等向け実践能力習得訓練コースの 委託先機関開拓業務事業計画書

I. 事業内容

(1) 実践能力習得訓練コースの受託企業の開拓

開拓企業数（計画）	20件
（具体的内容） 精神障害者等を対象とした訓練を新たに実施して下さる企業・事業所を開拓する。	

(2) 訓練内容や訓練カリキュラム等のコーディネート

コーディネート企業数（計画）	20件
（具体的内容） 新たに訓練先として認定された企業・事業所において、実際に訓練が活用されるよう障害者高等技術専門校と連携し、訓練カリキュラム設定等のコーディネートを行う。	

(3) 実践能力習得訓練コースの受託企業に対する事務手続き等の支援

支援企業数（計画）	20件
（具体的内容） 障害者高等技術専門校と連携し、電話もしくは必要に応じて企業を訪問するなどして、企業の事務負担軽減を図る。	

(4) その他訓練受託企業に対する助言・支援

助言・支援企業数（計画）	60件
（具体的内容） 訓練が始まると想定外の出来事が起こるなど企業側が戸惑うことも予想されるため、受託先企業が気軽に相談できる環境を整えることにより、企業の不安を取り除く。特に、訓練中には障害者高等技術専門校コーディネーター等と連携し、適宜企業訪問を実施する。	

8月	9月	10月	11月	南関東ブロック会議
1 土	1 火	1 木	1 日	
2 日	2 水	2 金	2 月	
3 月	3 木	3 土	3 火	
4 火	4 金	4 日	4 水	
5 水	5 土	5 月	5 木	
6 木	6 日	6 火	6 金	
7 金	7 月	7 水	7 土	
8 土	8 火	8 木	8 日	
9 日	9 水	9 金	9 月	
10 月	10 木	10 土	10 火	協議会幹事会
11 火	11 金	11 日	11 水	
12 水	12 土	12 月	12 木	
13 木	13 日	13 火	13 金	
14 金	14 月	14 水	14 土	
15 土	15 火	15 木	15 日	
16 日	16 水	16 金	16 月	
17 月	17 木	17 土	17 火	
18 火	18 金	18 日	18 水	
19 水	19 土	19 月	19 木	
20 木	20 日	20 火	20 金	特別支援学校プロジェクトチーム会議
21 金	21 月	21 水	21 土	
22 土	22 火	22 木	22 日	
23 日	23 水	23 金	23 月	
24 月	24 木	24 土	24 火	協議会定例会
25 火	25 金	25 日	25 水	
26 水	26 土	26 月	26 木	
27 木	27 日	27 火	27 金	
28 金	28 月	28 水	28 土	
29 土	29 火	29 木	29 日	
30 日	30 水	30 金	30 月	
31 月		31 土		

令和2年度 制度施策部会事業計画

I. 目的

千葉県内の各障害者就業・生活支援センターが、千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会の活動を通して、障害者の就労支援に関わる制度や各種施策等について、改善案や要望等をまとめ、行政に向けてより良い方向に向けた提言をしていくことを目的とする。

II. 活動内容

Ⅱ－1 障害者雇用ビジネスに関する調査の実施

○前年度実施した上記アンケートの調査結果と比較を行いながら、引き続き調査を続けていく。

特に積極的に障害者雇用ビジネスを受け入れている県や市のナカポツセンターに出向き、この問題に対峙している職員と意見交換をする事で、確度の高い報告書の作成に繋げ、関係機関に向けた提言、要望として提出する事に繋げていく。

Ⅱ－2 他県ナカポツセンターの取り組みの視察

○前年度参加した『N-1 グランプリ』に引き続き部会員を派遣。障害者の就労に留まらない地域連携の在り方を調査する。同様に圏域間連携に関し先進的、または様々な事例のある他県の実情を視察及び意見交換を行い、千葉の協議会内で情報を共有すると共に、関係機関へも広報紙やホームページ等を通して情報発信する。

令和2年度 研修部会事業計画

I. 目的

障害者就労に携わる支援者の育成を推進することを目的とする。

II. 活動内容

※千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会研修事業（年2回開催）

II-1 研修会名 第1回 障害者就業・生活支援センター職員研修

① 開催日時 令和2年7月31日（金）

② 会場 千葉市内（未定）

③ 対象 連絡協議会会員（各障害者就業・生活支援センター職員）

④ 参加人数 約50名

⑤ 研修内容 テーマ～「傾聴技術～相談・支援を担う為に必要な技術～」

II-2 研修会名 第2回 障害者就業・生活支援センター職員研修

① 開催日時 令和3年2月19日（金）

② 会場 千葉県内（未定）

③ 対象 連絡協議会会員（各障害者就業・生活支援センター職員）

④ 参加人数 約50名

⑤ 研修内容 テーマ「鼎談～これからの障害者就業・生活支援センターについて考える～」

III. その他活動

※県外視察研修への派遣事業

研修会名 全国就業支援ネットワーク第22回定例研究・研修会

① 開催日時 令和元年6月12日（金）～13日（土）

② 会場 愛知県名古屋市内（詳細未定）

③ 対象 連絡協議会会員（各障害者就業・生活支援センター職員より代表者）

④ 参加人数 1名

⑤ 研修内容 未定

令和2年度 広報部会事業計画

I. 目的

千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会に関する情報及び活動内容等を広く周知することを目的とする。

II. 活動内容

II-1 ホームページの管理・運営

- (1) ホームページの管理は、TMクリエイトに委託する。
- (2) 社会啓発事業の案内、協議会の取り組みや各種情報の更新を行う。
- (3) 更新は必要に応じ適宜実施していく。

II-2 広報紙の発刊

- (1) 広報紙の発刊にあたり広報部会を開催し、広く連絡協議会活動内容など周知できるように掲載内容を検討する。また、連絡協議会各部会等とも連携し、部会報告なども必要に応じて掲載を行っていく。
- (2) 広報紙の発刊は6月、1月とし、発刊前に部会を開催し紙面構成等を検討する。
- (3) 広報紙は連絡調整会議参加団体に送付を行う。また各センターで必要に応じて適宜配布を行う。

II-3 協議会パンフレット作成・使用

- (1) パンフレットの作製は「株式会社 集賛舎」に依頼する。
- (2) 4,000部を作成し、事務局・各センターで保管する。
- (3) パンフレットは適切な活用を心掛け、常に協議会の周知が図れるように努める。
- (4) パンフレットは各センターの使用状況・予定により配布し、定期的に過不足の確認を行うことで残数の確認を行い、調整を行っていく。
- (5) パンフレットの増刷が必要な際には「ロザリオの聖母会 ワークセンター」に依頼する。

別紙Ⅶ

令和2年度 特別部会事業計画

I. 目的

千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会の活動を通して、障害者雇用問題に関する議論、集約等喫緊の課題を協議、集約し関係各所に現状を知ってもらえるよう発信をしていくことを目的とする。

II. 活動内容

・障害者雇用支援ビジネスについて

集約した内容を協議会内で情報を共有し、「千葉県の16センターから支援の足並みを揃えていくこと」を目標とする。

制度施策部会と連携しより広範囲に調査を行い精査したうえで、関係各所に現状を周知してもらえるよう情報発信を行う。

・その他、一つの題材にこだわることなく、社会の情勢や新たな制度など障害者就業・生活支援センター事業の中で情報共有が必要なものや、統一見解が必要なものについて柔軟に情報集約や調査を行い関係各所に情報を発信していく。

別紙Ⅷ

令和2年度 特別支援学校との連携に関するワーキンググループ事業計画

I. 目的

千葉県内特別支援学校の就労支援コーディネーター幹事校で構成するプロジェクトチーム会議に参加し、特別支援学校の生徒もしくは卒業生の支援について連携のあり方など意見・情報交換を行う。

また、障害者就業・生活支援センター連絡協議会内においてアンケート等で意見の吸い上げを行うことにより課題や要望の明確化を行う。

II. 活動内容

- ① 就労支援コーディネーター連絡協議会の出席
- ② 就労支援ネットワーク連絡会プロジェクトチーム会議の出席
- ③ ワーキンググループ単体での会議

別紙IX

令和2年度 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会

役員・部会・事務局構成

① 役員

役職	所属	氏名
会長	障害者就業・生活支援センター 千葉障害者キャリアセンター	藤尾 健二
副会長	障害者就業・生活支援センター 東総就業センター	辻内 理章
副会長	障害者就業・生活支援センター ビック・ハート松戸	古川 亮
監事	千葉県知的障害者福祉協会 相談支援部会部会長	大越 将司

② 部会構成

広報部会 担当：古川副会長 部会長：杉山布美江	障害者就業・生活支援センター エール	杉山 布美江
	障害者就業・生活支援センター 中里	金木 隆裕
	障害者就業・生活支援センター ピア宮敷	鶴岡 裕太
	障害者就業・生活支援センター 山武プリオ	杉本 リリアーナ
	障害者就業・生活支援センター ふる里学舎地域生活支援センター	本郷 宏治
制度施策部会 担当：國島弘 部会長：柄澤隆一	障害者就業・生活支援センター はーとふる	柄澤 隆一
	障害者就業・生活支援センター ビック・ハート柏	八木原 直彦
	障害者就業・生活支援センター 就職するなら明朗塾	斎藤 信明
	障害者就業・生活支援センター 香取就業センター	岡澤 和則
	障害者就業・生活支援センター 長生プリオ	深澤 茂俊
	障害者就業・生活支援センター あかね園	中 真宏
研修部会 担当：辻内副会長 部会長：今井宏美	障害者就業・生活支援センター ビック・ハート松戸	今井 宏美
	障害者就業・生活支援センター 東総就業センター	福島 美果
	障害者就業・生活支援センター 千葉障害者キャリアセンター	栗原 章泰
	障害者就業・生活支援センター 大久保学園障害者就業・生活支援センター	申 美娟
	障害者就業・生活支援センター いちされん	西村 拓士
特別部会 担当：藤尾会長 部会長：西村拓士	障害者就業・生活支援センター いちされん	西村 拓士
	障害者就業・生活支援センター 山武プリオ	杉本 リリアーナ
	障害者就業・生活支援センター 長生プリオ	深澤 茂俊
	障害者就業・生活支援センター ふる里学舎地域生活支援センター	本郷 宏治
	障害者就業・生活支援センター ピア宮敷	溝上 忍

③ 特別支援学校との連携に関するワーキンググループ

部会長：向日宏一	障害者就業・生活支援センター 千葉障害者キャリアセンター	向日 宏一
	障害者就業・生活支援センター 千葉障害者キャリアセンター	在原 秀則
	障害者就業・生活支援センター いちされん	西村 拓士
	障害者就業・生活支援センター 中里	金木 隆裕
	障害者就業・生活支援センター ふる里学舎地域生活支援センター	本郷 宏治
	障害者就業・生活支援センター ビック・ハート柏	八木原 直彦
	障害者就業・生活支援センター 香取就業センター	岡澤 和則

事務局	障害者就業・生活支援センター ふる里学舎地域生活支援センター
-----	--------------------------------

令和2年度 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 加盟センター一覧表

圏域	センター名	住所	電話番号
千葉	千葉障害者キャリアセンター	〒261-0002 千葉市美浜区新港43	043-204-2385
習志野	あかね園	〒275-0024 習志野市茜浜3-4-6京葉測量(株)内	047-452-2718
船橋	大久保学園	〒274-0053 船橋市豊富町690-13	047-457-7380
市川	いちざれん	〒272-0026 市川市東大和田1-2-10市川市分庁舎C棟内	047-300-8630
野田	はーとふる	〒278-8550 野田市鶴泰7-1野田市役所 1階	04-7124-0124
松戸	ビック・ハート松戸	〒271-0047 松戸市西馬橋幸町117 ロザール松戸109	047-343-8855
柏	ビック・ハート柏	〒277-0005 柏市柏3-6-21 柏ビル302	04-7168-3003
印旛	就職するなら明朗塾	〒289-1115 八街市八街ほ244-62 (*令和2年6月1日より当住所へ移転)	043-488-5499
市原	ふる里学舎地域生活支援センター	〒290-0265 市原市今富1110-1	0436-36-7762
君津	エール	〒292-0067 木更津市中央1-16-12サンライズ中央1階	0438-42-1201
安房	中里	〒294-0231 館山市中里291	0470-20-7188
夷隅	ピア宮敷	〒299-4504 いすみ市岬町桑田341-1	0470-87-5201
山武	山武ブリオ	〒299-3211 大網白里市細草3221-4	0475-77-6511
長生	長生ブリオ	〒297-0012 茂原市六ツ野2796-40	0475-44-4646
海匠	東総就業センター	〒289-2513 旭市野中3825	0479-60-0211
香取	香取就業センター	〒287-0101 香取市高萩1100-2	0478-79-6923